【第五次総合計画上の区分】
第3章 未来を創る子どもの育成
I 学校・家庭・地域の協働
1 協働体制の構築

〔評価等の凡例〕 【実績】 A-成果があった B-少し成果があった C-あまり成果がなかった D-まったく成果がなかった
【中間】 ○-事業継続中 △-事業実施予定 --事業中止

区分	No.	事業名等	内容	活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明(今後の方向性)	特記事項		
				指標名	計画	実績	達成率(%)	指標名	計画	実績	達成率(%)						
2 地域とともにある学校づくりの推進	1	地域学校協働本部事業(子どもを育てる地域の連携促進事業)	(対象)	町内三小学校・中学校	事業計画数(回)	128	116	91	延べ参加サポーター数(人)	2,000	1,497	75	○	コロナ禍で学校支援等に係る協働活動の依頼やサポーター数が減少したが、依然としてコロナ前の水準に戻らない状況である。一方で、学校から要請のあった子どもサポーター活動には、すべて応えることができた。学校からはよい評価を得ている。	コロナ禍による社会情勢の変化や、定年後も働き続けなければならない家庭の事情などを鑑みると、以前のようなサポーター数や活動の水準に戻すことは現実的ではないと考える。サポーターの数や活動の件数を増やすことを第一義ととらえず、地域の諸団体や組織、個人等とゆるやかなネットワークを築きつつ、持続可能な活動にしていくこと、また、活動の充実や喜び、楽しさを目標にして協働活動を実施する。		
			(目的・内容)	(目的)幅広い町民・諸団体の参画によって、「地域全体」で子供たちの学びを支え、共に、「学校を核とした地域づくり」を目指す。 (内容)学校支援ボランティアを調整し、学校の要請により、学校支援活動を実施する。地域住民の発案による協働活動を具体化し、推進する。							※11末現在	※11末現在					
			(予算科目)	公民館費													
			(主な経費)	報償費2,479千円 消耗品費48千円 賄費42千円													

IV 安心して子育てできる町
1 多様な保育ニーズへの対応

区分	No.	事業名等	内容	活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明(今後の方向性)	特記事項	
				指標名	計画	実績	達成率(%)	指標名	計画	実績	達成率(%)					
3 幼児教育の充実 V31	2	幼児鑑賞事業	(対象)	こども園の4歳～5歳児	開催回数(回)	1	1	100	入場者数(人)	55			△			令和6年12月6日(金)実施「3びきのこぶた」
			(目的・内容)	舞台芸術の鑑賞機会を提供し、こどもの情操教育に資することを目的とし、演目の選定は町内こども園と協議の上決定した。												
			(予算科目)	文化会館費												
			(主な経費)	自主事業費												
3 幼児教育の充実 V31	3	家庭教育事業「子育て講座」	(対象)	小中学校の次年度新入学児童・生徒の保護者	周知回数(回)	4	3	75	参加者満足度(%)	135	134	99	○	子育て講座の開催によって保護者同士の交流、情報交換の場とすることができた。また、講座内容も次年度新入学児童・生徒の保護者が抱える不安を軽減させるために役立つものであった。	保護者同士の交流、情報交換のための貴重な場であるため継続していきたい。	[開催実績] ・亀代小学校 令和6年9月17日 38人 ・山倉小学校 令和6年9月24日 48人 ・蓮野小学校 令和6年9月13日 49人 ・聖籠中学校 令和6年12月13日 人(予定)
			(目的・内容)	(目的)家庭の教育力の向上 (内容)学校の協力を得て、各校の就学時検診、入学説明会時に学校を会場として家庭教育に関する講師を派遣する。開催時期は9～12月。講師は学校と協議の上選定する。												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	委託料(保育ルーム)8千円 講師謝礼44千円												

V 人生100年時代の学び
1 生涯学習の展開

区分	No.	事業名等	内 容	活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
				指標名	計画	実績	達成率(%)	指標名	計画	実績	達成率(%)				
1.生涯学習の推進	4	ちびっこ夕涼み会	(対象) 町民 (目的・内容) 夏の思い出作り。公民館のイベントは小学生以上むけが多いため、幼児向けのイベントを開催し、親子で足を運んでもらう。 (予算科目) 公民館費 (主な経費) 謝礼22千円、	開催回数(回)	1	1	100	参加者満足度(%)	80	98	123	A	70名の定員が満員となった。アンケートでも楽しかった、怖かった等の満足度は高かった。	次年度も継続して行いたい。	開催日:9月27日(日) 子ども70名参加
1.生涯学習の推進	5	風鈴まつり	(対象) 町民及び近隣住民 (目的・内容) ①町民ボランティアおよび聖籠中学校生徒がペットボトル風鈴を作成 ②ペットボトル風鈴制作者、来館者が短冊を記入 ③完成した風鈴を、町民会館プロムナードに展示 (予算科目) 公民館費 (主な経費) 消耗品礼35千円	講座開催回数(回)	2	1	50	参加者数(人)	-	-	-	A	多くの町民を巻き込むことができ500個のペットボトル風鈴を展示することができた。町民会館へ足を運んでもらうきっかけづくりができた。	次年度も継続して行いたい。	[開催状況] 展示期間:7月4日~8月2日
1.生涯学習の推進	6	初心者向けスマホ講座	(対象) 町内スマホ初心者 (目的・内容) ドコモ新発田店(2名)によるスマートフォンの使い方教室 (予算科目) なし (主な経費) なし	講座開催回数(回)	1	2	200	延べ参加者数(人)	20	13	65	B	2回開催で、どちらも定員に満たなかった。	講師のドコモが来年から有料対応となるため、要検討。	8月28日(水)電話編 9月6日(金)インターネット編
1.生涯学習の推進	7	歴史博物館出前講座	(対象) 町民及び近隣住民 (目的・内容) 県博物館専門職員による歴史の講座 (予算科目) 公民館費 (主な経費) 講師旅費 7千円	講座開催回数(回)	1	1	100	延べ参加者数(人)	15	6	40	B	博物館専門職員からの歴史の講座により町民に最新の成果を紹介することができた。	参加者は少なかったものの、今後も継続予定。	開催日:5月26日(日) テーマ:「はにわとどぐら・オリンピックとバンパク」 図書館共催事業
1.生涯学習の推進	8	ちくちくハンドメイド講座	(対象) 就学前乳幼児、小学生の保護者、子育て中の主に母親(裁縫初心者) (目的・内容) (目的)こども園や小学校で使えるかばんづくりの支援。 (内容)社会教育課職員を講師として、時期は10月下旬~12月上旬。全5回講座。 (予算科目) 公民館費 (主な経費) 委託料(保育ルーム)60千円	開催回数(回)	5		0	延べ参加者数(人)	10			O			[開催状況] ※現在講座開催中 期日:10月25日 11月15日、22日、29日 12月6日 会場:第2・3会議室 保育ルーム会場:和室

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
					指標名	計画	実績	達成率(%)	指標名	計画	実績	達成率(%)				
1.生涯学習の推進	9	植物療法『ハーブチンキ』づくり ※新規事業	(対象)	町民及び近隣住民	講座開催回数(回)	1	1	100	延べ参加者数(人)	20	10	50	B	・親子での参加、友人と参加等、幅広い年代の方から参加していただいた。アンケートからも「大変良かった。体験と知識のどちらも満たされ、講師の方に気軽に質問で的確なアドバイスをいただけた。」等の声が寄せられていたため、満足度の高い講座であった。	バラの花びらを使ったハーブの効能を学ぶ、ハーブチンキづくり体験を実施。リラックス・リフレッシュし参加された方からは「説明の仕方が穏やかで聞き取りやすかった。」「ほっとした時間が過ごせた」「このような講座をいっぱいやってほしい」との声があったため、今後も継続してものづくりの講座を行っていききたい。	[開催状況] 期日:令和6年6月23日(日) 会場:小ホール 保育ルーム:0名
			(目的・内容)	外部講師1名(植物療法士)による、植物に触れることで香りで癒され自然の力で免疫力アップ講座												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	報償費(講師への謝礼)0円(協力で無償)、材料費17千円												
1.生涯学習の推進	10	暮らしを彩る『苔玉』づくり	(対象)	町民及び近隣住民	講座開催回数(回)	1	1	100	延べ参加者数(人)	20	16	80	A	・友人と参加、ご夫婦で参加等、幅広い年代の方から参加していただいた。アンケートからも「土に触れる楽しみができました。材料などいろいろ選択でき、個性が出て楽しかった。」等の声が寄せられていたため、満足度の高い講座であった。	「とても楽しく作れ、人数的にも丁度良かった。家に飾って楽しめるのも嬉しい」「2つも作れると思わなかったので、うれしかった。」「大変落ち着く時間が過ごせた。」との声があったため、今後も継続してものづくりの講座を行っていききたい。	[開催状況] 期日:令和6年6月30日(日) 会場:小ホール 保育ルーム:0名
			(目的・内容)	外部講師1名(園芸療法士)による、苔玉のつくり方、及び管理方法について学ぶ講座												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	報償費(講師への謝礼)0円(協力で無償)、材料費17千円												
1.生涯学習の推進	11	親子de学ぶキッズマネー講座 ※新規事業	(対象)	町民及び近隣住民	講座開催回数(回)	1	1	100	延べ参加者数(人)	20	14	70	A	・小学校低～中学年の児童の参加が多かった。・親子どちらからも良い評価を得ることができ、満足度の高い講座であった。	金融関係に関する学びの関心が高かったため、次年度も講座の計画を立てることとする。	[開催状況] 期日:令和6年9月21日(土) 会場:小ホール 申込人数:16人
			(目的・内容)	外部講師1名による、座禅と写経を体験する講座												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	報償費(講師への謝礼)7千円、材料費20千円												
1.生涯学習の推進	12	千支を描こう! ※新規事業	(対象)	町民及び近隣住民	講座開催回数(回)	1	1	100	延べ参加者数(人)	10	8	80	A	町民が事業の講師となっている。小学生からお年寄りまで幅広い年齢層が参加した。	世代間交流の機会にもなり、継続して実施する。	[開催状況] 期日:令和6年11月23日(土) 会場:小ホール 保育ルーム未設定 参加予定人数:8名
			(目的・内容)	外部講師1名による日本画講座												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	報償費(講師への謝礼)7千円												
1.生涯学習の推進	13	シニアコーラスはまなす (旧 聖山大学OBコーラス)	(対象)	町内在住の高齢者	期間中回数(回)	25		0	発表会参加・開催(回)	1	1	100	○			令和6年11月16日(土) 聖籠町音楽祭参加
			(目的・内容)	(目的)高齢者に対し学びの機会と高齢者同士の交流の場を提供する。 (内容)合唱指導、音楽祭への出演など												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	講師謝礼217千円												

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
					指標名	計画	実績	達成率(%)	指標名	計画	実績	達成率(%)				
1.生涯学習の推進	14	メニークリスマス	(対象)	町民及び近隣住民	周知回数(回)	2	4	200	ツリー数(本)	60		0	○			[開催状況] 期日:11月30日~12月25日 ツリー受付期間:11月14日~12月25日 町内企業から廃材の協力あり 令和2年度から実施
			(目的・内容)	(目的)コロナにより多くの事業が中止となったが、せめて来館される利用者には少しでも明るい気持ちになってもらいたいと始めた事業。5年目の開催。 (内容)クリスマスツリーの寄付を広く周知し、多くのクリスマスツリーをプロムナードに飾る。												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	消耗品												
1.生涯学習の推進	15	「文芸せいろ」発行	(対象)	投稿者:町内及び町内関係者	周知回数(回)	4	4	100	投稿作品数(点)	60		0	○			
			(目的・内容)	(目的)町内及び町内関係者に文芸発表の機会を提供する。 (内容)4名で構成される編集委員会を組織し、7月に原稿を募集、10月末を締切。編集者・投稿者による7回程度の校正を経て、3月中に冊子を印刷(部数200)。一冊500円で販売。												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	委員謝金40千円、印刷代274千円												
1.生涯学習の推進	16	社会教育委員	(対象)	—	会議開催回数(回)	2	2	100					評価対象外			第1回—5月10日 第2回—12月6日
			(目的・内容)	(目的)教育委員会に対して社会教育についての助言を行う。 (内容)年2回 社会教育事業の事業計画と進捗状況を報告し、意見を求める。委員14人												
			(予算科目)	社会教育総務費												
			(主な経費)	報酬260千円												
1.生涯学習の推進	17	公民館運営審議会委員	(対象)	—	会議開催回数(回)	2	2	100					評価対象外			同上
			(目的・内容)	(目的)公民館長の諮問に応じる。 (内容)年2回 公民館事業の事業計画と進捗状況を報告し、意見を求める。委員12人												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	報酬75千円												
1.生涯学習の推進	18	社会教育だより発行事業	(対象)	町民	—				年間発行部数(部)	57,600	57,600	100	○	社会教育分野に特化した情報提供ができていないことから、成果及び妥当性は高い。	講座の告知など様々な情報を全世帯に発信できる冊子となっており、今後も継続。	
			(目的・内容)	(目的)生涯学習やスポーツ振興の周知 (内容)上記の講座やイベントの周知を行う。												
			(予算科目)	社会教育総務費												
			(主な経費)	印刷製本費1308千円												

V 人生100年時代の学び
2 青少年健全育成の推進

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
					指標名	計画	実績	達成率(%)	指標名	計画	実績	達成率(%)				
1 健全育成体制の充実 IV11	19	週末体験くらぶ	(対象)	小学校1年生～6年生	事業開催数(回)	40			参加者数(人)	800			○	週末の子どもの居場所づくりになっている。	継続して実施していく。	
			(目的・内容)	(目的)週末の子どもの活動場所の確保、体験活動の機会を提供する。 (内容)町公民館を主会場に、毎週土曜日の午前中に子どもたちの体験学習の場、機会を提供する。延べ参加予定者800人												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	報償費398千円 消耗品費45千円 バス借上料60千円												
1 健全育成体制の充実	20	わんぱくキャンプ	(対象)	小学校5年生、6年生	周知回数(回)	1	1	100	参加者数(人)	45	48	107	A	自然の中での体験を通じて、さまざまなことを学ぶことができた。	アンケートを参考に内容の見直しをしながら継続していく。	7月27日(土)・28日(日) 福島「国立磐梯青少年交流の家」
			(目的・内容)	(目的)児童の自然体験、三小学校の児童間の交流の場の提供 (内容)青少年宿泊施設等を利用した野外活動体験。沢登、野外炊さんなど。大学生ボランティアや青少年育成員の協力により実施。スポーツ振興業務委託事業(スポネットせいろう)												
			(予算科目)													
			(主な経費)	スポネットせいろうへ委託												
1 健全育成体制の充実	21	二十歳を祝う会(旧:成人式)	(対象)	年度末年齢21歳(R2検討委により対象年齢の見直し有)	会議開催回数(回)	1	1	100	参加者数(人)	171	105	61%	A	二十歳という節目を迎えるための通過儀礼として妥当性は高いと考える。また、町外に転出した対象者が参加しやすいように、お盆帰省時期の8月に例年実施することで一定数の参加者が確保されているものと推察される。	人生の節目をお祝いするイベントで必要不可欠、県内で廃止した市町村は無い。継続実施。	・R2に教育委員と社教委の対象年齢見直しを含めた検討会を行い、対象年齢を年度末20歳から年度末21歳に変更した。
			(目的・内容)	(目的)ふるさとへの愛着の醸成 (内容)対象者の自発的な式典の企画・立案による式典の実施(実行委員会形式による)。対象者約200人												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	消耗品(式典花、記念品等)57千円 アルバム印刷費155千円												

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
					指標名	計画	実績	達成率(%)	指標名	計画	実績	達成率(%)				
1 健全育成体制の充実	22	青少年育成員	(対象)	町の青少年	事業実施数(回)	2	3	150	育成員数(人)	21	21	100	○	公民館事業を含め、様々な事業を行い地域の青少年健全育成に貢献している。	地域の青少年健全育成活動と共に、重要視される公民館事業への人的支援を継続していく。	※町民会議の母体で活動はほぼ同一
			(目的・内容)	(目的)青少年健全育成 (内容)有害図書等環境に係る実態調査、「わんぱくキャンプ」「お正月公民館まつり」などへの人的協力(公民館との共催事業)。子ども110番看板メンテナンス事業。委員数21人												
			(予算科目)	青少年問題協議会費												
			(主な経費)	報償347千円 旅費21千円												
1 健全育成体制の充実	23	青少年健全育成町民会議	(対象)	町の青少年	協力事業数(回)	2	2	100	協力等参加者数のべ(人)	10		0	○	公民館事業を含め、様々な事業を行い地域の青少年健全育成に貢献している。	地域の青少年健全育成活動と共に、重要視される公民館事業への人的支援を継続していく。	協力事業参加数: 納涼会5名 わんぱくキャンプ4名 公民館まつり?名(1月11日)
			(目的・内容)	(目的)青少年健全育成 (内容)「わたしの主張(三市北蒲地区)」「お正月公民館まつり」の共催 視察見学・研修会等の開催 「子ども110番」看板メンテナンス事業 「家庭でのメディアコントロール」標語事業(下記参照) 「お正月公民館まつり」は、育成員が従事者として運営に協力している。												
			(予算科目)	青少年問題協議会費												
			(主な経費)	補助金196千円												
1 健全育成体制の充実	24	「家庭でのメディアコントロール」標語事業(町民会議事業)	(対象)	町内小・中学校の5年生児童・2年生生徒	生徒へ周知(人)	288	288	100	作品点数(点)	288	228	79	○	青少年の健全育成の対策の1つとして、ネット環境の利用について、家族で話し合い、再検討させることが目的。	令和2年度からの事業。(明るい家庭づくり文集作成事業に替わるもの)。7月に小学5年生と中学2年生に依頼。とりまとめし町民会議委員により採点。12月選考表彰。今後も継続する予定。	各校の優秀者3名を決め、町民会議役員が各校で表彰を行う。
			(目的・内容)	(目的)子どもたちがメディアやネット依存にならないよう、その使用についての認識を深める活動。 (内容)町内小中学校の児童・生徒に家族で話し合いながらメディアコントロールの標語づくりをお願いする。その後とりまとめ、各校の入賞作品を選定し発表。												
			(予算科目)	青少年問題協議会費												
			(主な経費)	町民会議へ支出する町補助金でまかない、参加賞等60千円												
青少年健全育成事業 I 11	25	町PTA連絡協議会補助金	(目的・内容)	(目的)保護者組織への支援 (内容)協議会事業(町P連だより発行等)への活動費助成	町P講演会開催数(回)	1	1	100	参加者数(人)	100	106	106	○			
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	補助金140千円												
青少年健全育成事業 I 11	26	地域青少年健全育成活動補助金	(目的・内容)	(目的)育成会等の支援 (内容)集落の育成会や子ども会への活動費助成	イベント活動回数(回)総数	30		0	団体数(団体)	20	21	105	○			
			(予算科目)	青少年問題協議会費												
			(主な経費)	補助金621千円												

V 人生100年時代の学び
3 文化の振興

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
					指標名	計画	実績	達成率(%)	指標名	計画	実績	達成率(%)				
1 文化の創造・遺産の保存 I 11	27	小学校鑑賞事業	(対象)	小学校児童	開催回数(回)	1	1	100	延べ入場者数	853	853	100	A	文化の振興、文化体験の機会提供に資するものである。	学校と連携しながら引き続き実施していく。	期日:令和6年7月5日(金) 会場:町文化会館 演目:『宝島』 蓮野小 245名 山倉小 307名 亀代小 301名
			(目的・内容)	(目的)舞台芸術の鑑賞機会を提供し、児童の情操教育に資する。 (内容)町内三小学校の教務主任と協議の上、演目を選定												
			(予算科目)	文化会館費												
			(主な経費)	自主事業費(公演料)1,205千円、送迎バス借上料214円												
1 文化の創造・遺産の保存 I 11	28	中学校鑑賞事業	(対象)	中学校生徒	開催回数(回)	1	1	100	入場者数(人)	417	417	100	A	文化の振興、文化体験の機会提供に資するものである。	学校と連携しながら引き続き実施していく。	期日:令和6年5月30日(木) 会場:町文化会館 演目:『スギテツ』
			(目的・内容)	(目的)舞台芸術の鑑賞機会を提供し、情操教育に資する。 (内容)中学校と協議の上、演目を選定する。												
			(予算科目)	文化会館費												
			(主な経費)	自主事業費(公演料)979千円												
1 文化の創造・遺産の保存	29	せいらう少年少女合唱団	(対象)	原則町内小中学生(一部町外加入者あり)	団員募集広報(回)	10	10	100	団員数(人)	12	15	125	○			2月に北区文化会館で開催の「にいがた・ジュニアコーラスフェスティバル」に参加予定。
			(目的・内容)	(目的)専門指導者の合唱指導による技術の習得、団員同士の交流、近隣市町の合唱団との交流、町の文化活動の担い手を育成する。 (内容)週1回(木曜日)公民館で練習、近隣市町で行われる発表会への参加など。												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	報償費583千円、 役務費(保険料)2千円												

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
					指標名	計画	実績	達成率(%)	指標名	計画	実績	達成率(%)				
1 文化の創造・遺産の保存	30	文化祭(ふるさと芸能歌謡祭)	(対象)	町文化団体・サークル及び町民	来場者数(人)	2,000	2,373	119	アンケートに基づく満足度(%)	70	24	67	B	文化系団体の作品展示による創作意欲の向上につながったものとする。見学者からも「すばしかった」等の評価する声も多かった。 高齢化により作品数や参加者数が減っている。	基本的には同様に行う(内容については次年度の文化祭実行委員会の決定事項となる)。	11月3・4日の2日開催
			(目的・内容)	(目的)文化団体・サークルの発表の場の提供。町民の鑑賞機会の提供 (内容)絵画・写真・生け花等の作品展示、茶会、囲碁・将棋大会、芸能歌謡祭など。	文化祭出品点数(点)	500	452	90	※満足24、どちらとも6、やや不満1、未記入4							
			(予算科目)	公民館費、文化会館費	アンケート回答数	50	36	72								
			(主な経費)	委託料450千円、消耗品160千円等	回答率(%)	2.5	1.5	61								
1 文化の創造・遺産の保存	31	町音楽祭	(対象)	合唱・吹奏楽団体、その他音楽愛好者(主にアマチュア)	出演者・団体数(組)	10	11	110	観客数	300	207	69	B	参加者は減少したが、出演者は増加した。	今後も継続して行う予定。	[開催状況] 期日:令和6年11月17日(土) 会場:町文化会館
			(目的・内容)	(目的)練習成果を発表する機会の提供 (内容)広報誌を利用して出演者を募り、文化会館で発表会を行う。												
			(予算科目)	文化会館費	アンケートに基づく満足度(%)	今後実施予定			アンケートに基づく満足度(%)	今後実施予定						
			(主な経費)	消耗品費(プログラム作成用紙)2千円												
1 文化の創造・遺産の保存 V11	32	「みんなで歌おう会」講座	(対象)	町民及び近隣住民	講座開催回数(回)	12			延べ参加者数(人)	300			O			
			(目的・内容)	(目的)合唱を学ぶ機会の提供、サークル化への育成支援 (内容)講師による講座を月1回開催、発表の機会提供(町音楽祭など) 毎回参加者約30人												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	報償費(講師への謝礼)182千円												
1 文化の創造・遺産の保存 V11	33	自主事業はまなす寄席	(対象)	一般	開催回数(回)	1	1	100	入場者(人)	500	629	126	A	多くの来場者にステージを楽しんでもらうことができた。	内容を検討しながら、今後も継続。	[開催状況] 9月7日(土)
			(目的・内容)	(目的)芸術文化に触れる機会の提供 (内容)落語やお笑いステージ												
			(予算科目)	文化会館費												
			(主な経費)	委託料3,520千円												
1 文化の創造・遺産の保存 I22	34	お正月公民館まつり	(対象)	幼児～小中学生、幼児や小学生の保護者	周知回数(回)	2	2	100	参加者数(人)	200			△		R7.1.11実施予定	
			(目的・内容)	(目的)子どもと大人の昔の遊びを通したふれあいの機会を提供する。 (内容)毎年1月上旬に開催。町民会館を会場に、射的・お手玉づくり、かるた・羽子板・メンコ・コマ、駄菓子屋、綿菓子などのブースを設営。青少年健全育成町民会議と共催。	アンケート回答者数(%)	20	12.0	60	参加者満足度(%)							
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	謝金79千円、消耗品28千円、食料費71千円、備品借上30千円 計208千円												

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項						
					指標名	計画	実績	達成率(%)	指標名	計画	実績	達成率(%)										
1 文化の創造・遺産の保存	35	文化財保護事業	(対象)	文化財	周知回数(回)	12	11	92	文化財周知状況満足度(%,文化財審議会委員)	100		100	○		今後も文化財保護のため継続して周知する予定。							
			(目的・内容)	(目的)町有形・無形文化財の保護 (内容)町文化財の指定、保護管理の奨励、文化財調査審議会の開催、広報誌を通じた普及啓発、古民家の調査等 町指定文化財所有者に対する適正維持管理を奨励するための補助金(有形37,000円、無形46,000円) (参考)町指定文化財数:建造物4点、工芸絵画等12点、民俗2点 史跡記念物3点																		
			(予算科目)	文化財保護費	現場調査回数(回)	40			0	文化財欠損・破損数(件)	0	0										
			(主な経費)	審議会委員報酬 78千円 根上松管理委託料 968千円 文化財維持管理補助金(6件)203千円													(11月時点)					
1 文化の創造・遺産の保存	36	埋蔵文化財保護事業	(対象)	埋蔵文化財	埋蔵文化財保護状況(%)	100			0	調査未実施による文化財の破損件数(件)	0			評価対象外		11月後半 蓮野逆川地区ほ場整備試掘調査中						
			(目的・内容)	(目的)文化財保護法に基づく保護 (内容)開発前に遺跡の有無を確認。ない場合でも状況により試掘調査を行う。ある場合は工法により協議を行い調整する。開発により遺跡が保護されない場合は発掘調査を行う。	(調査実施件数/要調査件数)																	
			(予算科目)	文化財保護費	現場調査回数(回)	20			0													
			(主な経費)	賃金3,909千円、委託料5,308千円、借上料1,482千円																		
1 文化の創造・遺産の保存	37	ふるさとだいき講座	(対象)	町内の小中学生	出前授業実施回数(回) 資料館含	3	3	100	延べ参加者数(資料館含む、人)	135	135	100	A	今年度より、総合政策課から町のお金の使い方についての授業が追加となった。 当課並びに図書館(偉人)、東港振興室(東港)、産業観光課の授業は昨年度と同様に行った。	令和4年度からの事業。町をより知ってもらい、郷土愛をはぐくむ事業であることから今後も実施したい。							
			(目的・内容)	(目的)生徒・児童に町の歴史や文化・産業・偉人について学んでもらう。 (内容)役場職員等が小中学校に出向き、授業を行う。 その他、民俗資料館の説明解説も行う。	※↑当課																	
			(予算科目)	文化財保護費	アンケート回収率(%)	100	100	100	アンケートに基づく満足度(%)	100	80	80										
			(主な経費)	なし																		